

令和3年度第1回矢巾町立学校通学区域審議会報告書

1 開会（午後6時30分）（進行 田中館学校教育課長）

2 委嘱状交付

A 委員が代表受領

3 挨拶

和田教育長から、「この審議会の目的・方向性について、教育全般にわたって、これからの未来の子どもたちのために私たち大人たちは何ができるのか。今、子どもたちのおかれている状況は日々変化しており、これからの未来はもっと変化する。そういった変化に対応できる子供達を育成するためにどういった教育環境が必要なのか。未来を生きる子どもたちのために私たち大人が考えていかなければならない。通学区域だけではなく学校規模も含めて、教育環境の整備になると思われる。この二つの大きな課題について、諮問をさせていただきたい」旨挨拶。

4 会長及び副会長の互選について

選出方法について、I 委員から事務局一任の意見があったことから、事務局案として会長に田村委員、副会長に瀧委員を提案し、異議はなかった。

5 諮問

和田教育長が諮問書を読み上げ諮問。

6 議題（進行 田村会長）

田村会長から「皆様のご協力いただきながら子どもたちの望ましい教育環境を考えていかなければならない。特に、少子高齢化が一気に進み、矢巾町も人口動態を見ると、いつかは大変な状況になると国では予測している。今考えていかないと、その時になってからは遅い。ぜひ、矢巾町の子どもたちのよりよい教育環境をみんなと一緒に議論していければなということ、よろしくお願ひしたい」旨挨拶。

議題に入る前に、傍聴希望者の傍聴（原則公開、内容によっては一部公開あるいは非公開）について委員に諮り、異議はなかった。

（1）町内小中学校の現状について

高橋学校教育課長補佐が資料に基づき、学級数の推移、児童生徒数の推移、行政区別の児童生徒数の推移、国勢調査矢巾町の推計値、建築物の築年数について説明。

なお、今日の資料は、あくまでも現状の子ども的人数での推計であること、近い将来、煙山小学区、矢巾東小学区において宅地開発の見込みがあることから、人口推計が変わってい

くことが考えられる旨説明及び情報提供を行った。

○H 委員

推移を見ていったときに、学区の編成だけで済む話ではないと感じた。

人口だけで見ていくと、集中している地域とそうでない地域があり、この偏りを少なくしていかなければならない。

短期的に見れば学区の編成も必要であるが、長期的に見ていく場合は産業面からも考えていく必要がある。

○田村会長

まちづくりとの連携というのは非常に重要となってくる。

○N 委員

さまざまなことを加味しながら考えていかなければならないと感じたところである。

地理的な要因も大事なことだとは思いますが、学校なので、学級あるいは学校で教育を維持していく、行事を維持していけるかが重要である。

学校の活動を、子どもたちが活発に活動できる環境をつくるためにどういった人数がふさわしいのか加味しながら考えていかなければならない。

また、先生たちの意見を聞きながら考えていかなければならないと感じた。

ほしい資料として、通学の状況、どういったところからどういった手段で通学しているのか、自転車通学はどのくらいなのかといったところを把握しないと、地図上で区切るといったことができないと感じた。

○田村会長

教育活動は授業がベースになっていく。学級数で教員の定数も決まる。また、通学について、通学方法や通学時間、どういう手段を利用しているのかという部分もありましたが、事務局からわかる範囲でお話をお願いします。

○田中館学校教育課長

地域的なもの、産業を含めたまちづくりといった部分について、教育委員会としてそういった施策の方向づけはできないが、今の矢巾町における都市計画に沿って教育委員会としては考えていかなければならないと思っている。教育委員会といった立ち位置からすると矢巾町の流れに沿って考えていかなければならない。

なお、学校活動を維持するという意味で、どうあるべきかという部分については、議題の2番目の部分でお話ししていきたいなと思います。

通学状況の資料につきましては、本日用意していないが、先日、学校に問い合わせをした経緯がある。中学生は、ほぼ全員自転車で通学している。小学生は、徒歩や家庭による送り迎え、徳田、煙山の一部ですとバス通学ということがあるが、各学校を回ると自転車の数が少ないなと感じた。

また、昨年度からスクールバスを一部地域で運行しており、利用した児童もいるという状況である。次回の会議でもう少し具体的な資料を出せればと思っている。

○田村会長

例えば一番遠い児童で何キロくらいあるのか、時間的にどのくらいかかっているのかといった部分、可能なところで資料を準備していただければと思います。

○J 委員

5年後まではある程度、児童生徒数を把握しているようであるが、10年くらい経ったときにどのくらいになるのかがわかれば、適正規模や学区の見直しといった見通しが立てやすいと思うが。

○高橋学校教育課長補佐

市街化区域編入の部分も含め、議論を活発化させるためには、必要なデータと考えているので、可能な限り、次回資料を出したいと思っている。

○L 委員

小学校や中学校の建物ですが、補修すべきところは補修していかなければならない。通学路もそうですが、人数や利用者が多いところは資金を投資して対応していると思うが、親として安全面のところ、今現在の対応も必要と思うので、どのように検討されていくか気になるところである。

街路灯設置の要望もあったのですが、資金的な部分、どういう方法で投入するかというところで話が止まった。

現在の子どもたちの安全も守りつつ、少人数のところに、よりよい教育、少人数の良さを残しつつ、矢巾町としても人口が減っていく中で、どのように若い人たちが望んで子どもを産み育てて暮らしていけるような整備ができるかというところを、みなさんにご意見をいただきながら、考えていけたらと感じたところである。

○A 委員

みなさんおっしゃる通りだなと思って聞いていましたが、子どもたちにとって、今後何が必要で、それらを全部網羅して考えていかなければならないなと感じた。

今現在困っている子たちがいると思うので、そこも見ながら、先も見ながら、バランスをとってどうやっていくのか、産業面や、親がこの後もこの地で住むのか、子どもたちもここに住み続けるのか読めないところもあると思うので、現状と10年スパンの規模でどうしたいのかが見えてくると何か解決策が出てくるのかなと感じた。

○田村会長

現状からまだ見えない世界、先を見ていかなければならない。諮問にもあるとおり、子どもの望ましい教育環境が必要となってくる。施設の関係も考えなければならぬ。夢を語る

ことも大事だと思うし、現実をクリアしていくことも大事である。課題を出し合うことで解決策が見えてくることもあると思うので、みなさんの目から見た今の学校像や子どもたちの様子などの実態を踏まえながら検討していくというのがいちばん大事なポイントなのかなと感じた。

○E 委員

数値的な部分を見せていただいたが、子どもたちの話を聞いたり、実際の現状を見たりする機会もある中で、大人目線で考えていくことも大事ではあるが、子どもたちの意見も取り入れて考えていく必要があるのではないかと考える。

例えば単学級について子どもたちはどのように思っているのか、複数学級の良い部分だとか、自分たちが子どもだったときと違って、多様化しており、今の子どもたちは掴みきれない部分がある。大人の想像を超えている子どもたちもいるので、私たちがここで話し合いをすることにプラスアルファで子どもたちの意見、アンケートを取って、子どもたちの声を聞くというのも大事なことなのではないかと考える。

○P 委員

4 ページの資料、例えば、煙山小学校は、平成 28 年から 60 人近く増えている。矢巾東小学校でいうと、平成 28 年から見ると、毎年 10 名から 20 名ほど減って行って、また 5 年後に増えるといったような状況になっている。

増えたり減ったりする児童数に対し、学校がどう対応できるものなのか。また、現場でどういうことが想定されるのかという部分がまず心配なのかなと感じた。

また、自転車の移動が減ってきていてスクールバスを出しているということですが、先日矢巾北中学校に行った際に、帰りの迎いの車が駐車場にたくさんあった。今はこういう時代になっているのだなと感じたところである。ご自身で移動できないのか、部活動で疲れてなのか、共働きでそういう体制になっているのか、そういう部分を見ていくと、今後、子どもたちがどうやって学校に行くのかといった移動手段のところも、先ほど子どもたちの意見を聞くべきだという話がありましたが、ここから見えることを議論していきながら、適正配置、適正規模を考えていけばいいのかなと感じた。

毎年、児童生徒の数が違って、一クラスに 5 名増えたらどうなるのか、逆に 5 名減ったらどうなるのか、学校の現場でどうなるのかという部分も考えさせられる。

○田中館学校教育課長

煙山小学校ですが、施設の部分で対応していかなければならない。来年度以降教室が不足するので、普通教室を図書室に改造することとしている。

岩手県教育委員会では、35 人学級ということで取り組んでいるが、町内においても全クラス 35 人学級ということになっているので、35 人を超えた場合は、学級が増え、教職員の配置もお願いしなければならないということになる。

また、学級数によって施設の面、人的資源の投入というのが変わってくる。

○P 委員

学級数によって国から人件費や施設の管理費が支払われるのか。

○田中館学校教育課長

教員の人件費は県の予算、施設に関しては国から来るのではなく町の予算でやらなければならない。

○田村会長

議題（２）の適正配置、適正規模についても関連してきましたので、次の項目に進めさせていただく。

（２）適正配置及び規模の適正化の必要性について

高橋学校教育課長補佐が「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」について説明。

○田村会長

ポイントについて説明してもらいましたが、ここに書かれている内容については、矢巾町に当てはまる部分もあれば、ちょっと違うなという部分もある。

学校規模の適正化にかかる基本的な考え方というのはそのとおりかと思う。

やはり、教育的な視点を忘れてはいけないし、子どもが主体、中心だという部分も忘れてはならない。

もう一つは、矢巾町も取り組んでいるコミュニティ・スクールとなる。地域コミュニティの核としての性格を配慮していかなければならない。社会の中にある学校、コミュニティの中にある学校、その核だということは、各教員にも話しているので、そういう視点でご意見を頂戴したい。

○C 委員

諮問書の中に、児童生徒の偏りが生じているということですが、そもそも偏りの何がいけないのかという部分もある。小規模校の良さとか、コミュニティとしての機能ということで、会長からもお話があったとおり、そういうメリットとしてあり、そういったメリットを最大限活かすというのも、偏りと言ってしまうのではなく、大きな学校と小さな学校それぞれの特徴、教育方針の違い等があるので、家庭の思いで自由に選べる機能があっても良いのかなと思ったりはした。

しかし、今後の推移を見ると、例えば10人台のクラスとなると、さまざまな活動にも支障をきたしてくるのではないかと感じた。さらに次のことを考えると、不動地区は複式学級になり得るのではないかと思うと、小規模校の良さだけでは、押し通せないのではないかと感じた。

ただし、枠を大きくしたからと言って、教育効果が上がるとも考えがたい。

○田村会長

適正規模がどういう規模なのかという議論もあると思われる。

少人数でも特色ある学校経営を行っているところもたくさんあるので、そういうところを心に留めておきながら考えていただきたい。

○M 委員

徳田小学校が築 51 年ということであるが、遺跡の関係で今の場所に作り直すのは難しいと聞いた。もし古くなって、新しいものを作るとなれば移転、もしくは今の校舎を上手にメンテナンスして存続させていくという選択があると思うが、今現在の徳田小学校の今後の見通しについて改めて教えてほしい。

○田中館学校教育課長

徳丹城遺跡に建っているということで、建て替えは今の場所にはできない。

ただ、現状で使っていく分には今のところ問題ないと言われている。

今後、徳田小学校がどうあるべきかという部分についても、議論の中でご意見いただければと思う。

○G 委員

徳田小学校、不動小学校の児童が減って、かたや煙山小学校が増えているという現状である。

そういうことを考えると、適正な学区の見直しを図る必要は当然出てくるとと思われる。

○K 委員

学区について、南矢幅地区の子どもがかなり煙山小学校に通っているが、何か歴史的な背景があるのか。

○田中館学校教育課長

昔は、徳田、煙山、不動の三小学校だった。

矢巾東小学校ができて、高田 1 区から 3 区、藤沢地区が徳田小学区から矢巾東小学区に、下北、矢巾 1 区から 3 区は煙山小学区から矢巾東小学区になったといったように、過去に学区の見直しがあり、昔の旧三校時代の枠組みと違った考え方で、当時もいろいろな議論を行って今の学区になっている。

○K 委員

端的に言えば、増築する、増築しないといったことよりも、スクールバスを出せば問題解決になるのではと思った。

○和田教育長

さまざまな関係で、兄弟で違う学校には通わせたくないという思いもあると思うので、例

えば、この学年から人数が増えたので、スクールバスで別な学校に行ってもらいますといった形にはならない。

○F 委員

徳田小学校はもう建て替えはできない。このまま使う場合は、改修したりして使うということであるが、10年くらい前は、間野々、土橋に行くという噂があった。

今は、その噂も聞こえない状態なので、徳田小学校はこのまま使い続けると思っていた。

現在、煙山小学校と矢巾北中学校にお世話になっているが、子どもがこの学校に通いたいというのではなく、親がここに土地を買って、マイホームを建てて、会社に行きやすい場所を選ぶ、そういった場所が煙山小学区に多いただけなのではないかと思っている。

うちは煙山小学区ではあるが、スマートインターの近くで夜は暗い。もっと暗いのは流通センター、南昌地区になる。

うちの子どもは、自転車で通学しているが、吹奏楽部、特設合唱部に入っており、夜7時40分頃帰ってくる。朝は自転車で行って、帰りは軽トラックで迎えに行く状況である。

煙山小学区で増える場所は限られていて、便利なところを親が選んで煙山小学校に行く。保護者の気持ちで学校が決まってしまうのが現状と考える。

今後も造成される予定ということで、大きい学校で勉強や人との関わりを学べるチャンスかもしれないが、もしかしたらそういうものに耐えられない子どもも出てくるのではと思うし、逆に少人数の学校で手取り足取り見てもらえるので、中学校に行って成績が良いといったこともあり得るのではないか。

現状、多い学校と少ない学校があるので、学区編成も必要かもしれないが、統合するのではなく、学校の色を出して、子どもたちの活躍を見守ったらいいいのではないかと考える。

○B 委員

煙山小学校、やはり人数は多くなってきている。

特に南矢幅2区が多くて150人。地区の方からもまとめるのが大変といった声が聞こえてくる。南矢幅に人数が偏っているが、うちの地区は子どもたちの人数はなかなか増えないのが実情である。

図書室を改装するといった話があったが、教室が足りないし、児童館に通う人数も多い。

プールの隣に児童館はあるが、学校のプレハブ校舎を使って児童館にしているといった現状もある。児童館もこれからどうしていきべきかというところを学校と話をしていた。

○田村会長

付随する施設も関係してくるという部分も考えていかなければならないと考える。

○D 委員

徳田小学校の校舎について、児童や先生は困っているのかお聞きしたい。

今現状の子どもたちの登下校の安全をどうにかしてほしいと思うことがたくさんある。

ずっと協議されていることではあるが、北高田保育園付近の危ない道路や、横断歩道がな

い大きい道路を横断しなければならないところがある。

また、マックスバリュの向かいの信号機のない道路があるが、事故が起きる寸前の状況を目の当たりにした。役場の道路担当に話をしたら、地元からじゃなければ要望は受付できないと言われたので、安全面についても今回の会議で検討して変えていきたいと感じた。

○I 委員

適正という言葉がすごく難しいと感じた。子どもたちの目線から言うと不満を持っていないと思う。自分の時代の一番多い時期の矢巾中学校も良かったし、今自分の子どもたちは徳田小学校に通っているが、ああいう小さい学校も良いと思っている。どれも適正なのかなと。

ただ、資料を見ると、バランスだとか、安全面だとか、いろいろな事情があり、それぞれクリアしていかなければならないので、いろいろな目線で、もちろん子どもたちがメインとはなるが、学校運営協議会も今回設立したばかりなので、これから地域の人たちとみんなで学校を運営していこうというところで進めていければと考える。

また、教育振興運動など、今までやってきたものを大切にしていきながらやっていければいいのかなと。交通安全的な部分は、町政が絡む部分でもあると思うので、ここの中だけに限らず、外に発信していければと思う。

徳田に関していえば、昔ニュータウンだったところも今は人が少なくなっている。そういった部分も町政だとは思いますが、今まで栄えた部分をどのように町としてまちづくりしていくかバランスを保っていかないと、将来的にまた崩れてしまうので、町で組織しているいろいろな会議とも連携しながら検討をしていければと感じた。

○田村会長

今日は、いろいろな角度のお話をいただいた。今後は、論点を整理して、項目を立てていながら集中的に審議していければいいのかなと思っている。

各学校の課題、建物や子どもたちの数の問題、そこに関わる地域の資源の関係、都市計画の関係等、そういったところがあるのかなと。すべてをクリアしてベストなものを作るというのは非常に大事なことではあると思うが、ある程度調和をとりながら、矢巾町全体としてどっちの方向に向いていくのかということを目なさんと議論していければと思っている。

学区を変えて見ていくとか、違った角度から物事を見ていくとか、それであっても主体は子どもであるということ意識しながら、より良いものを作っていければと思っている。

○田中館学校教育課長

D 委員の施設で困っていることはないかという部分について、子どもたちというよりは、学校から連絡が来る。古い施設だと、放送設備が壊れたとか細々不具合が出ており、新しい矢巾中学校や矢巾東小学校と比べると頻度は高いなと感じている。

7 その他

○高橋学校教育課長補佐

一年位時間をかけて、矢巾町の方向性ということを議論していくことと、今後、何か意見等が思いついた場合は、事務局まで連絡してほしい旨伝えた。

8 閉会 (20 時 12 分) (田中館学校教育課長)